

[科学講演]



大隅良典 先生(大隅基礎科学創成財団 理事長)

『小さな酵母に問いかけて40年』

私は、この歳まで半世紀にわたって、単細胞生物である酵母を用いて、液胞の働き、さらに液胞が細胞内のタンパク質の分解の場であること、そのために分解するものを液胞へ運ぶ仕組みを調べてきました。その結果、ヒトに至るまで保存されたオートファジーの基本的機構や沢山の必要な遺伝子が明らかになりました。さらにそれらを手がかりにしてオートファジーの生理的役割が明らかと解明され、現在健康や様々な病気との関係について、世界中で多くの研究が進められています。ここに至るまでに40年の歳月が過ぎました。このように基礎的な研究が、本質に役についた応用研究に見舞われるには長い時間と沢山の研究者の努力が必要なのです。今日は私が、どのようにして、このような研究を始めたのか、その偶然のきっかけやその時々で考えたことを交えながら研究の経緯をお話しします。私たちが取り巻く自然や身近な生活の場には、不思議なこと、まだ人間が知らない沢山の謎があります。何でもパソコンやインターネットを調べてわかったような気になることなく、じっくりと調べて考えることが大切です。研究の楽しさもお話したいと思います。



野田二郎 理事長
(名古屋市立大学 理事長)

『未来を切り拓く あなた方に期待を込めて』

私は医師として50余年、泌尿器科教授、病院長、医学部長、学長を経て、理事長を務めています。この間、多くの方々に支えられ、優れた若者を育ててきました。深い感謝です。人生の中で最も成長するのは10歳代。身体は大人に変化し、知識を吸収し、思考力を養うのはこの時期です。しかし、脳が成長するには、絶えず刺激する「訓練」が必要です。物事を探求し、固定概念にとらわれない発想をする訓練です。明治維新において、近代日本を開いた若者のように、あなた方に我が国の明るい未来を切り拓いて欲しい。その思いを込めて、講演では、発想力を高める訓練を医学の話題を通して行い、最後に名市大の中高生を支援する最新の話題を提供します。



森田美代 教授
(基礎生物学研究所 教授)

『暗い中でも空を目指す ～植物が重力を 感じるしくみ～』

地球上の生物は、1gの重力環境の中で進化してきました。生物をとりまく環境刺激の多くは常に変化するのに対して、重力は地球上どこにでもあって、方向やその大きさが変化しないという特徴を持ちます。植物は重力の方向を感じ取り、成長方向を調節する重力感性という性質を示します。動物のような感覚器や神経系を持たない植物は、どのようにして重力の方向を感じることができるのでしょうか?この講演では、その仕組みについてご紹介します。

[科学体験ブース]

同時会場

同端高校 スーパーサイエンス部	時習館高校 SSH部 物理班	時習館高校 SSH部 化学班	時習館高校 SSH部 生物班
同端北高校 サイエンス部	株式会社ヤグルト東海	ケニス株式会社	ガラス産業連合会

名古屋会場

向陽高校 科学部	名古屋中学・高校 地球科学部	名古屋経済大学市和高校 理科	名古屋経済大学豊田中学・高校 生物部
明和高校 SSH部 生物班	明和高校 SSH部 物理・地学班	明和高校 SSH部 数学班	明和高校 SSH部 化学班

かがくこーくるCST

株式会社ヤガミ

名古屋科学館ものづくりボランティア

会場案内

同時会場 / せきれいホール

アクセスはここから▶



〒444-0022 愛知県岡崎市春日町1丁目1816-5
TEL 0564-25-0511 FAX 0564-25-0512
<https://www.hera.com/floor-guide/access.html>

名古屋会場 / 名古屋市立大学桜山キャンパス

アクセスはここから▶



〒463-8661 名古屋市瑞穂区瑞穂町字111原1
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/campus-map/takumiyama/>

お申し込み方法

こちらより、お申し込みください。

●お申し込み期間

令和8年2月1日(日)
～2月15日(日)

